

特定工場における生産施設の面積

小数点以下は切り捨てること

| 生産施設の名称 | 施設番号 | 面積 (㎡) | | 増減面積 (㎡) |
|---|---------------|-----------|-----------|--------------------------|
| | | 変更前 | 変更後 | |
| 第 1 製造工場 | セ - 1 | 1 , 0 0 0 | 1 , 5 0 0 | + 5 0 0 |
| (機械プレス工場) | (セ - 1 - 1) | (6 0 0) | (9 0 0) | (+ 3 0 0) |
| (") | (セ - 1 - 2) | (4 0 0) | (6 0 0) | (+ 2 0 0) |
| 第 2 製造工場 | セ - 2 | 1 , 0 0 0 | 5 0 0 | 5 0 0 |
| 第 3 製造工場 | セ - 3 | 1 , 0 0 0 | 1 , 5 0 0 | 5 0 0 + 1 , 0 0 0 |
| 組立工場 | セ - 4 | 1 , 0 0 0 | 変更なし | |
| ボイラー室 | セ - 5 | 1 0 0 | " | |
| 航空機部品工場 | セ - 6 | なし | 1 , 5 0 0 | + 1 , 5 0 0 |
| 1 . 生産工程が工場建屋単位で独立している機械工場などの場合は、それぞれの工場建屋を一つの単位として取扱う。 2 . 生産施設単位に含まれる主要施設はセ - 1 - 1、セ - 1 - 2 といった枝番号を付し、その面積を () 内に記載すること | | | | |
| 生産施設の面積の合計 | | 4 , 1 0 0 | 6 , 1 0 0 | 1 , 0 0 0 + 3 , 0 0 0 |

セ - 1 - 1 とセ - 1 - 2 とは別棟の建屋であるが、仕訳上 1 単位の製造工場又は製造工程とみる

既存の生産施設に新たな生産施設を 5 0 0 ㎡増設する場合

1 , 0 0 0 ㎡の既存の生産施設を 5 0 0 ㎡廃棄する場合

1 , 0 0 0 ㎡の生産施設を 5 0 0 ㎡スクラップするとともに同一単位の生産施設を 1 , 0 0 0 ㎡ビルドする場合

新たな生産施設を 1 , 5 0 0 ㎡増設する場合

増減は、それぞれ延面積で表すこと

今回の届出で変更がない場合は記載を省略して差し支えない

セ - 4、セ - 5 の記載を省略した場合も合計欄には含める

(注) 法第 8 条第 1 項 (変更) の届出で、今回、生産施設面積の変更がない場合は、この様式の提出は要しない。

2以上の業種に属する特定工場は次の「特定工場の業種別生産施設面積一覧表」を添付すること。

特定工場の業種別生産施設面積一覧表

| 生産施設の名称 | 施設番号 | 生産施設の面積 (㎡) (今回の変更面積) | 製造製品名 | 業種の分類 (分類番号) | 敷地面積に対する 生産施設の割合 | 既存の生産施設用 敷地計算係数 |
|---------|-------|----------------------------|---------|-------------------------------|---------------------|--------------------|
| 第1製造工場 | セ - 1 | 1,500 (+500) | 燃料コック | 自動車部分品・付属品製造業 (3113) | 65% | 1.2 |
| 第2製造工場 | セ - 2 | 500 (500) | 燃料コック | 自動車部分品・付属品製造業 (3113) | 65% | 1.2 |
| 第3製造工場 | セ - 3 | 1,500 (+1,000) (500) | 燃料コック | 自動車部分品・付属品製造業 (3113) | 65% | 1.2 |
| 組立工場 | セ - 4 | 1,000 | 燃料コック | 自動車部分品・付属品製造業 (3113) | 65% | 1.2 |
| ボイラー室 | セ - 5 | 100 | 燃料コック | 自動車部分品・付属品製造業 (3113) | 65% | 1.2 |
| 航空機部品工場 | セ - 6 | 1,500 (+1,500) | 航空機胴体部品 | その他の航空機部分品・補助装 置製造業 (3149) | 65% | - |

- (注) 1 共用施設(各業種で共用する生産施設たる用役施設(ボイラー、コンプレッサー、ポンプ等))の生産施設面積は、それを使用して
いる業種のうち準則値(敷地の面積に対する生産施設の割合)の厳しい方の生産施設に含めることとする。
- 2 今回の変更届出で、変更のない生産施設については記載を省略して差し支えない。
- 3 一の業種に属する特定工場については、この様式の提出は要しない